

参加費
無料

がん診療医科歯科連携講習会

平成30年3月18日(日) 13:40-16:20

京葉銀行文化プラザ 7F 楓

〒261-0015千葉市中央区富士見1-3-2 TEL 043-202-0800
※有料駐車場あり(台数に限りがあります。)

● 第1部 13:40 ~ 14:10

「多職種連携による医学的、経済的メリットについて」

講師：丹沢 秀樹 先生 (千葉大学大学院医学研究院 教授)

● 第2部 14:15 ~ 15:15

「国保旭中央病院における医科歯科連携システムの構築～医科の立場から」(仮題)

講師：野村 幸博 先生
(地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院 主任部長(副院長))

● 第3部 15:20 ~ 16:20

「国保旭中央病院における医科歯科連携の現状と課題」(仮題)

講師：中田 康一 先生
(地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院 歯科・歯科口腔外科 主任医長)

後援：千葉県医師会、千葉県歯科衛生士会、日本病院会千葉県支部、千葉県看護協会
千葉県薬剤師会、千葉県訪問看護ステーション協会、
千葉県介護支援専門員協議会、千葉県医療ソーシャルワーカー協会

お問い合わせ

一般社団法人 千葉県歯科医師会 TEL 043-241-6471 <http://www.cda.or.jp>

参加者氏名	所属(職種)	電話番号

FAX 043-248-2977

ファックスの誤送信にお気を付けください。ご記入頂いた個人情報は、参加受付の目的のみに使用いたします。

がん診療医科歯科連携講習会



「多職種連携による医学的、経済的メリットについて」

千葉大学大学院医学研究院 教授
日本学術会議 会員、中央社会保険医療協議会 専門委員
日本口腔科学会(日本医学会第31分科会)理事長



丹沢 秀樹

がん治療に伴う口腔合併症発症頻度が非常に高く、侵襲の大きい手術では局所合併症や肺炎が高頻度に出現するため、平成24年度改訂のがん対策推進基本計画では、「各種がん治療の副作用・合併症の予防や軽減」、「患者の更なる生活の質の向上」のために、「医科歯科連携による口腔ケアの推進」が盛り込まれました。これを受けて、平成24年度の診療報酬改訂において、「周術期における口腔機能の管理」が新設・保険導入された。以来、既に2回の診療報酬改定が行われ、その都度、拡充されてきました。さらに、慢性病態にも有効であることが認められ、介護や地域医療計画にも導入されました。このように、医療保険ならびに介護保険において、「医科歯科連携」が強く要請されています。医療・介護における多職種連携がこれほど強く望まれたことはありません。しかし、口腔機能管理に関して、その医療上の効果、ならびに医療経済的な効果に関して、あまり理解されていないのが実情です。

本講演では、まず、周術期口腔機能管理の原理・効果についてお話しします。歯科が従来の「歯科」に留まっているのではなく、歯科医師が口腔全体に関する専門家としての診断に基づく治療・管理計画の作成に参画し、多職種間におけるrespectに基づいた連携により医療に貢献することの有効性が認められ、受け入れられたのです。口腔機能管理により、医療上の効果が得られるだけでなく、医療費の削減・有効利用に寄与できるのです。次に、どのような医科歯科連携、および多職種連携が現在望まれているのか、さらには、どのような医療経済的な効果が見込まれ、社会保険制度がどのように誘導しようとしているのかもご紹介いたします。病診連携、医科歯科連携、医科病院内における歯科の貢献、基幹病院から地域医療・療養に移行する際の多職種連携、療養・介護における多職種連携など、この制度を効果的に運営することにより、医療機関の経営にも寄与・貢献できることをご紹介いたします。